

日本大昭和板紙関東(株)草加工場のCSRへの取り組み

—最近のトピックス—

日本大昭和板紙関東(株)草工場は、日本製紙グループの「行動憲章」「行動規範」に基づき、先端技術の充実と設備の拡充に力を注ぐとともに、「資源を大切に作る循環型企業」として社会に寄与することを経営の大きなテーマとしています。

●日本大昭和板紙関東(株)草加工場の紹介

日本大昭和板紙関東(株)草工場(以下草加工場)は埼玉県草加市の工業団地にあり、最大の消費地かつ古紙発生地である首都圏に位置し、また周辺には段ボールメーカーや紙器業者も多く、極めて恵まれた立地条件にある都市型工場です。草加工場は、原料の99%以上に古紙を使用した板紙生産を行うリサイクル型工場であり、環境にやさしい生産活動を進めています。

草加工場は、2003年4月、日本ユニパックホールディンググループ(現(株)日本製紙グループ本社)の板紙事業再編により誕生しました。現在、日本製紙グループの板紙専門工場として、段ボール原紙(ライナー、中芯)や紙器用原紙をはじめとする産業用板紙を生産しています。中でも段ボール原紙の生産量は、日本大昭和板紙グループ内で約30%とトップの実績を誇っています。

また、草加工場では製品重量あたりの廃棄物最終処分量0.01%以下を目指して、廃棄物の発生を極小化し、再資源化するゼロエミッション活動にも取り組んでいます。

●資源として再利用される板紙製選挙用ボード

日本大昭和板紙グループでは、森林伐採などの環境問題に対応するため、ベニヤ板ではなく、再生紙を原料とした板紙製選挙用ボード原紙を製造しています。去る9月11日に実施された衆議院議員選挙でも約330トンもの選挙用ボード原紙を追加生産しました。

一方、草加工場では、環境に配慮して廃棄物を極小化し、再資源化する活動に取り組んでおり、使用済みの板紙製選挙用ボードも貴重な資源として再利用しています。同選挙で使用された選挙用ボードも大半を回収し、ミキサーパルパー(注)に投入後、板紙に再生しています。



ミキサーパルパー

注) 草加工場の所有するミキサーパルパーは、国内に2台しかない難離解古紙処理装置で(もう1台は国立印刷局が所有)、選挙用ボードに混入する釘などの異物も分離できる。



●従業員数(2005年9月1日現在)	140人
●生産量と生産構成(2004年度実績)	
ライナー	39% (196,690t)
中芯	42% (210,363t)
チップボール	11% (52,688t)
石膏ボード	8% (38,723t)
1999年12月 ISO14001 認証取得	
2003年12月 ISO9001 認証取得	

CSRコミュニケーション

●小・中学生を対象に草加工場内の見学を受け入れ
草加工場は、経済産業省が推進しているリサイクル教育の支援事業、「3R体験学習事業所(注)」に登録しており、古紙リサイクル工場として小・中学生を対象とする見学を積極的に受け入れています。

見学者数は、2003年が約500名でしたが、2004年9月から2005年8月にかけては731名と年々増加傾向にあります。従来は取引先や紙パルプ業界に携わる方の見学が多かったのですが、資源を有効活用するという意識の高まりを受け、地方自治体が広報等を通じて工場見学の参加者を募集したり、あるいは周辺の小学校が校外学習の一環として工場見学を行うケースが増えています。

一般的な見学ルートは古紙を備蓄するストックヤードに始まり、大量の古紙を溶かすパルパー、そして不純物を取り除き紙の繊維を取り出すまでの原質工程と、さらに抄紙工程を3つのパートに分けて見学します。それぞれのポイントではパネルを使用して、できるだけわかりやすい説明を心掛けています。小学生の見学では出荷前の製品を手にとれるのが好評のようです。

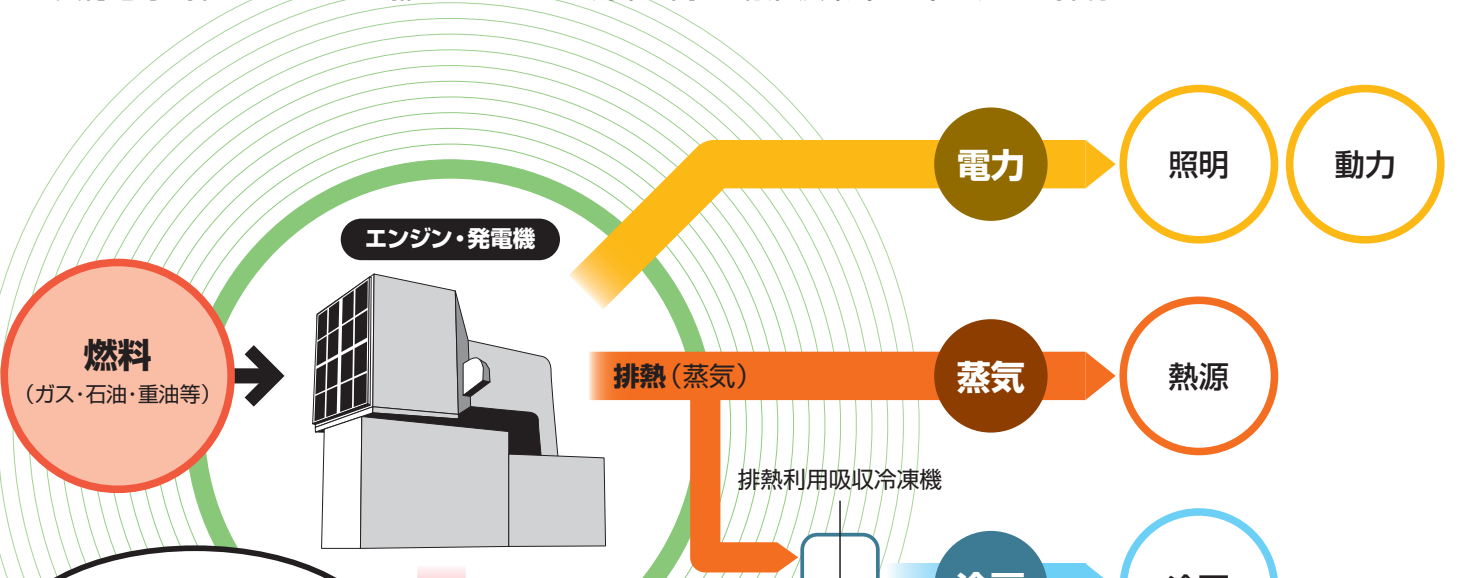
今後も「資源循環型社会の構築をサポートし、顧客に信頼される製品を提供する」ことの重要性を大勢の皆さんに伝えていきたいと考えています。

注) 小中学校におけるリサイクル(3R=リサイクル、リユース、リデュース)学習支援のために、工場見学に協力している事業所や研究施設など。



●コージェネレーションのしくみ

コージェネレーションとは、一般的に燃料のエネルギーを使ってエンジンを運転し、電力エネルギーを得るとともに、エンジンからの廃熱を利用して蒸気や温水などを作り、熱の有効利用を図る方法をいいます。また自家発電により外部との契約電力を抑えられることに加え、エネルギー効率が高く二酸化炭素(CO₂)の発生を抑制できるメリットがあります。



へえ、コージェネレーションって
省エネルギーに貢献しているし、
環境にもやさしいんだね



排熱(温水)

冷房

冷房

暖房

暖房

● 草加工場の製品紹介

板紙とは、厚く堅い板状の紙を総称した呼び名で、草加工場では段ボール原紙(ライナー、中芯)、紙器用板紙、建材原紙(石膏ボード原紙)などを生産しています。

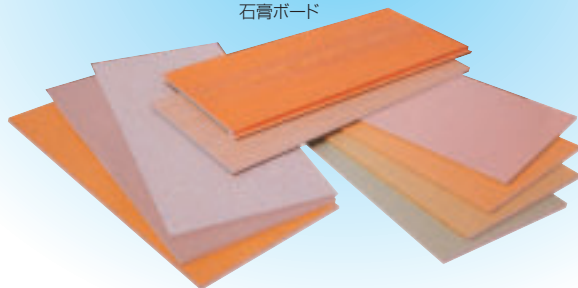
段ボール原紙は、食品、電気製品、農産物、その他あらゆる分野の包装箱に使用されています。紙器用板紙は、ブックケース、菓子箱、洗剤の紙箱、ジグソーパズル、その他広範囲に使用されます。また、建材原紙は、石膏ボード(耐火性建材)に使用されます。

段ボール製品

板紙製品



石膏ボード



段ボールについて

段ボールは、「ライナー」と呼ばれる段ボール原紙と「中芯」と呼ばれる波型に加工した段ボール原紙を貼り合わせて作られています。

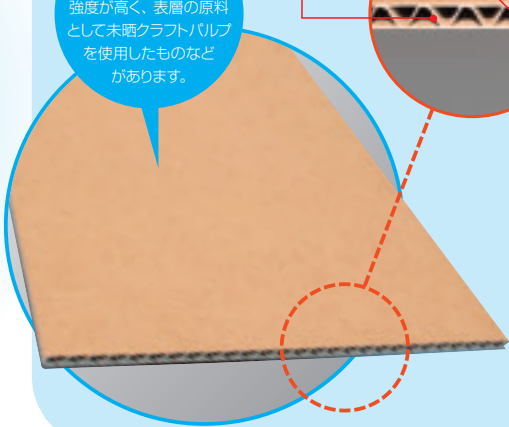
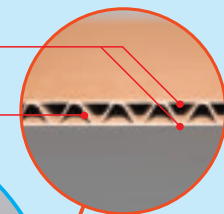
「ライナー」には、「Kライナー」、「ジュートライナー」、表面に晒^{さら}パルプ(白いもの)を使用した「白ライナー」があります。一方、「中芯」には「一般中芯」と「強化中芯」があります。

Kライナー

外装ライナーの中でも強度が高く、表層の原料として未晒クラフトパルプを使用したものなどがあります。

ライナー

中芯



Crossword Puzzle

右のクロスワードパズルを解き、□に入る文字を並べかえて答えを作ってください。正解者の中から抽選で20名の方に日本大昭和板紙関東(株)草加工場(以下草加工場)の原紙を使ったディズニージグソーパズル(1,000ピース)をプレゼントします。

● ヒント
減らす努力をしなければなりません。

● 応募方法
官製ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、職業、電話番号、本誌を読んでのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。ただし、お一人様1回のご応募とさせていただきます。本懸賞においていただいた個人情報は第三者に開示・提供することはありません。

● 宛先
〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル
株式会社日本製紙グループ本社 CSR室
ターラ・プレゼント④係

● 応募締め切り
平成17年11月30日(当日消印有効)

● 当選発表
正解者多数の場合には抽選を行い、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。なお、賞品は12月中に発送する予定です。

タテのカギ

ヨコのカギ

- ① 道路などを直したり、作ったりすること。
- ② 草加工場では、毎週月曜日を〇〇〇〇化の日と定めている。
- ③ 〇〇に冠を正さず。
- ④ 日本大昭和板紙関東(株)には草加工場と〇〇〇〇工場がある。
- ⑤ 〇〇〇知新。
- ⑥ タンドールというかまどの内側につけて焼くパンで、主にインドカレーで食べるもの。
- ⑦ 草加工場は3R〇〇〇〇学習事業所に登録している。
- ⑧ 漢字で浜茄子と書く、バラ科の落葉低木。
- ⑨ 金属などの元素で、酸化還元反応しやすいものの順序を示した〇〇〇〇傾向。
- ⑩ 同じ家で生計を共にする一家。
- ⑪ 周囲に環がある太陽系の内側から六番目の惑星。
- ⑫ 刺身などの料理に添える野菜や海藻。

- ⑬ マクロの反対語。
- ⑭ シェイクスピアの四大悲劇は、ロミオとジュリエット、オセロ、マクベス、〇〇〇〇。
- ⑮ 南米に位置する南北に細長い国。
- ⑯ 段ボールを構成するライナーと〇〇〇〇。
- ⑰ 首都テンブー。ヒマラヤ山脈東部にある王国。
- ⑱ 度を越して厳しい様子。
- ⑲ 本当の気持ち。
- ⑳ 〇〇が緩んで、歯止めがきかなくなった。
- ㉑ はっきりとは見えないものの、なんとなく感じられる様子。
- ㉒ クリスマスの前夜。
- ㉓ 複数枚の紙に穴を刺し通す道具。
- ㉔ 甲子園球場の外壁を覆う植物。
- ㉕ 〇〇〇〇北馬。
- ㉖ 日本製紙グループも取り組んでいる、チーム・〇〇〇〇6%。
- ㉗ 数本の木材をつなぎ合わせ、水に浮かべ、木材の運搬などをするもの。

● クロスワードパズル ●

1	2		3	4	5	
6		7				
8		9		10		11
12			13			
		14	15		16	
	17			18		
19			20			
21				22		

※本パズルの解答は12月中に当社ウェブサイトに掲載します。